



ひと一人の個性が輝く

NPO法人

十人十色

と
い
ろ
通
信

2025年

春号

4月11日発行

Vol. 60

非日常で見えてくるもの

お伊勢さん参拝の季節がやってきました。今回は、利用者さん3名と一緒に出掛けました。しょうがい者〇子さんと、△さんには、とにかく集合時間に遅れないことを注意しました。普段の買い物で、たくさんおやつを買いすぎて、いつも集合時間に遅れている。そんな二人には、とにかく、団体行動だからみなさんに迷惑をかけないように注意しました。「到着までに何回もトイレ休憩があるが、その時、土産や自分のおやつを買って遅れないこと」。「ホテルに到着してからゆっくりおやつやみやげを買う時間があるから、途中では絶対買い物をして遅刻しないこと」を約束しました。

そして、服装です。ホームでは、おしゃれになりましたがカジュアルです。お伊勢さん参拝は、「礼装」と決まっています。私自身、普段着でない格上の着物を着ます。

さて、礼装の服を持ち合わせていない利用者二人の服装準備です。1か月も前から、スタッフ数人が服をもちより、二人にサイズが合うか否かフィッティングしてみます。そして靴は？…と結構これが大変でした。

そんなこんなで、当日を迎え…、さて、このかっこよさ！モデルさんのようにかっこよくなった二人が登場です。バスでのマナーもOK。遅れることもなく、旅行を楽しんでいる様子です。それどころか、一緒に同行した高齢者の人たちの手をひいたり、荷物をもったり…と、その気配りにとても感動しました。普段の買い物に出かけた時のたくさん買い物してなかなか車に来ない、あるいは、レジにてお金がたりない！？など…の問題行動連発の二人はどこへやら…。

大発見のお伊勢さん参拝旅行でした。やはり、旅行などに利用者さんとでかけると、普段ホームで暮らしているだけでは見ることのできない、その人となりや育ちが見えてきます。

絵本に冒険や家出が描かれているのもうなずけます。普段の生活空間ではない非日常は、人を大きく成長させます。

NPO 法人十人十色

理事長 岸本美鈴



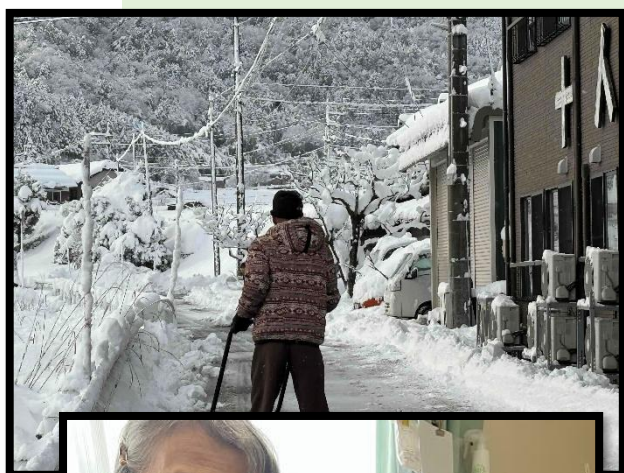
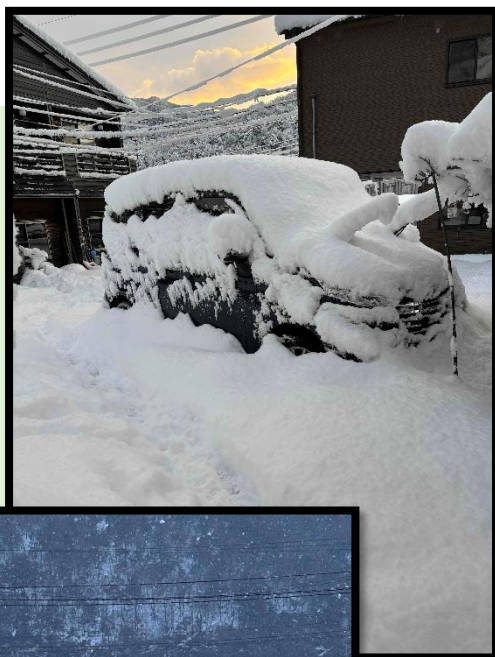
よっこらしょ

456

グループホーム
知的、精神の手帳がある方



今年たくさん雪が降りました。毎年思うことですが、ホームの利用者さんは雪かきに大活躍です。誰に言われるわけでもなく、自らすすんで雪をかいているのです。特に、送迎がある日は、私が車のところに行く前に、車の雪をおろして車のまわりの雪をかいてくれています。本当に感動しますし、人手のない早朝にはスタッフ以上の働きです。



前号で紹介したホームで飼うことになった小太郎ちゃんは、大きな働きをして、利用者を育ててくれます。やさしさを育て、乱暴な言葉使いを甘いやさしいネコナデ声に変えます。今回は小太郎家出事件があり、ご近所さんとの関係プレーで見つけました。

大変な豪雪でした。まさに恐ろしい程雪が降りしきる真夜中、花ちゃんがわんわん吠えます。真夜中なので、誰も起こすことができず、一人で花ちゃんを連れて散歩。大雪なので、かくこともできず、長靴で雪をこいでかきわけ歩いていく…。1日目8回。下痢便のようです。怖い、村はずれの滝の所まで歩く…。暗闇の恐怖と動物が出てこないかの恐怖と闘いながら2日目4回。3日目は、みんなに訴えたら、Sくんが「ぼくが連れて寝てやる」と添い寝。抱っこして寝てやると暖かいのか夜遊びがおさまりました。

文/岸本 美鈴



なんやこの 作業所

就労継続支援B型事業

★働く、内職、農業など

生活介護事業

★アート、ラジオ体操など訓練・リハビリ

生活介護

生活介護と合流し、音楽に親しむ時間をつくりました。そこでHさんが笑顔で青春時代を楽しまれたと思われる曲を歌われている姿にびっくりしました。前日はハサミを使ってのアートもされたと聞き、二度びっくりでした。Iさんも曲に合わせて口ずさまれていました。YさんとAさんは何故か歌いませんと断られてしまいましたが最後に皆で行った「ふるさと」の曲に合わせた手話は殆どの方が参加されて良かったです。Yさんの歌い方が少し変化していました。以前は怒鳴るような強い歌い方でしたが、今日は動揺もアニメソングも含めて優しい歌い方になっているなあと感じて嬉しかったです。

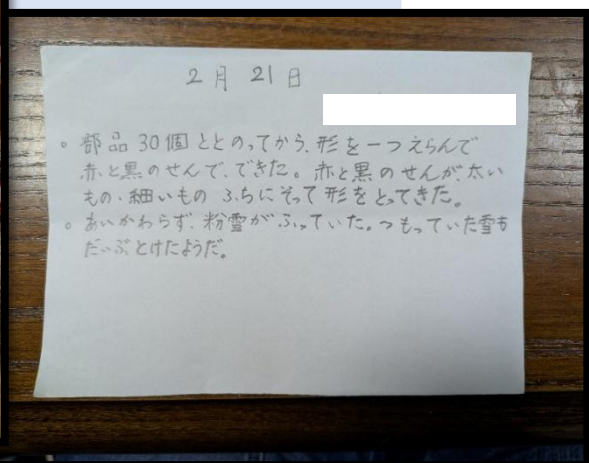
文/安東 文枝



B 型

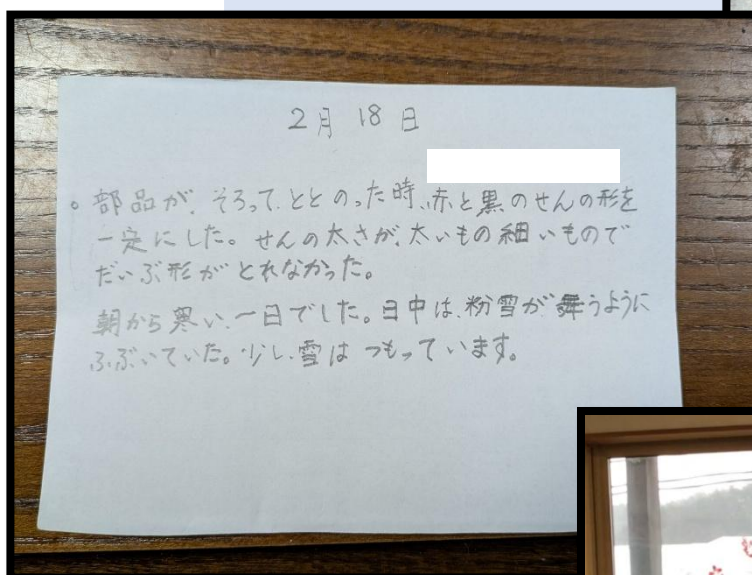
昨年10月末に新しく作業所の仲間入りをされたIさん。私たちの問いかけに「はい」「ありがとうございます」と小さな声で返事をされます。外反母趾の悪化と魚の目で歩行の見守りが欠かせません。そんなIさんも看護師さんの懸命な対応で徐々に心を開き、食の嗜好、音楽の趣味等分かってきました。内職作業でも皆さんが準備・片付けを手伝ったり、食事を手伝ったり食事を運んでくれたりと、自主的にお世話をしてくれます。Iさんもありがとうございますと御礼を言い、皆が笑顔になります。作業終わりに書く「ふりかえり」のほんの一例を紹介します。

文/安東 文枝



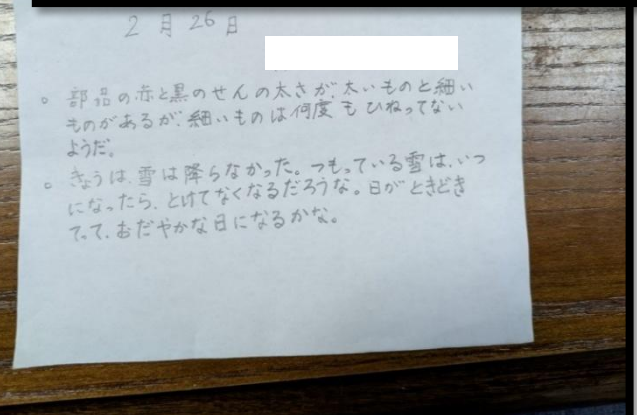
2月21日

- ・部品30個ととり、てかう、形を一つえらんで赤と黒のせんで、できた。赤と黒のせんが太いもの、細いもの、ふらにそて形をとってきた。
- ・あいかわらず、粉雪がふっていた。つもっていた雪もだぶとけたようだ。



2月18日

- ・部品が、そろってととのった時、赤と黒のせんの形を一定にした。せんの太さが太いもの細いもので、だぶ形がとれなかった。
- 朝から寒い一日でした。日中は、粉雪が舞うようにふぶいていた。少し、雪はつもっています。



2月26日

- ・部品の赤と黒のせんの太さが太いものと細いものがあるが、細いものは何度もひねってないようだ。
- ・きょうは、雪は降らなかった。つもっている雪は、いつになったら、とけてなくなるだろうな。日がとまどきて、あだやかな日になるかな。

金曜日にはピアノに合わせて歌を歌ったり、手話ソングをならったりして盛り上がります。



ちゃんちゃん

小規模多機能型居宅介護
介護予防小規模多機能型居宅介護事業所

「ちゃんちゃん」は、近隣の高齢者の方に利用して頂いています。宿泊の方、通いの方、訪問の方…それぞれの利用者さんに合ったサービスを提供しています。



早番に入っていると、子どもの頃から慣れ親しんだ〇先生が「なんか、おもしろいことしよう!」。びっくりして徐々にトランプをしました。すると、一回勝負するごとにカードを持つ手もしゃっきりとしていき、罰ゲームで他の利用者さんが社音頭を歌っているときには一緒に合唱をしていました! (※写真はお金柄のトランプ。現金ではありませんご心配なく!)

文/岸本 美鈴

スタッフの目



〇さんから身内の不幸でいろいろ苦勞された話を聞きました。それでも今は前を向いて生きていくと…。自分をふりかえって、私はまだまだ少しのことでくよくよ考えてるなあと、反省。マイナス思考はやめようと、楽しく生きようと思った日でした。 文/小谷 泉



邂逅

このページでは十人十色と交流のあった方々との思い出を紹介させて頂いております。



伊藤美恵さんへのラブコールが多く寄せられ、2度来鳥。1度目は、「虐待防止・身体拘束適正化委員会」にゲストとして。2度目は、職員全員による虐待防止の研修です。当日は、最初にミュージックケアのセッションを行って頂いて、それを映像にとり、その映像を見ながら、不適切な支援はないかを解説していただきました。映像には、普段見れていない利用者の様子が映っており、それは、利用者さんがどう困っているか、どう支援しなければならないかを学びました。あるいは、「やる気がない」とスタッフが困っている利用者さんが生き生きと楽しくやっている様子にスタッフ全員驚きと発見。自分は虐待をしていないから関係ないのではなく、利用者一人ひとりの状態を正しく見てシェアし、不適切な支援を行わないことが重要なのだと学びあいました。

大活躍のアート

きて!!みて!!アート展

～障がい者アートって知ってる?～

R6年度あいサポートアートとっとり展

最優秀賞「かお・顔・かお」濱田聡

銀賞「みんな違ってみんないい」西尾玉子

銅賞 僕にはこう見えるだよシリーズ「生きものと花」岸本拓也

十人十色アーティスト3名が受賞しました。

この作品を含め新作をいつもと違った形で、沢山の人の見てもらいたいと

3月8日(土)～3月12日(水)きて!!みて!!アート展

花籠神事のワークショップ アート展ランチ

えびこ GOHAN(鳥取市河原町牛戸)も同時に

鳥取市川端銀座 BARFEET で開催しました。

夜は BAR といっばい飲みながらの鑑賞と

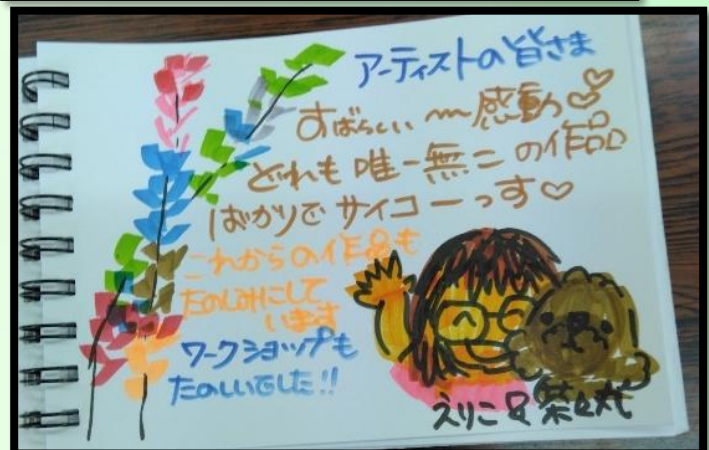
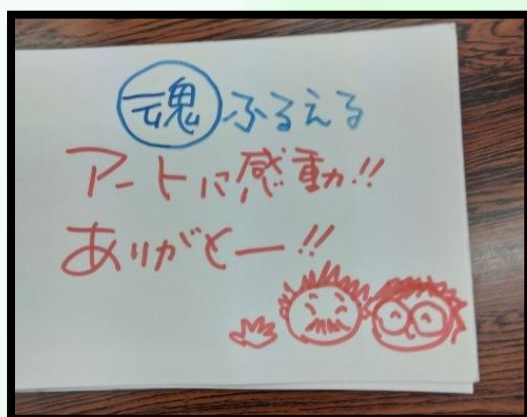
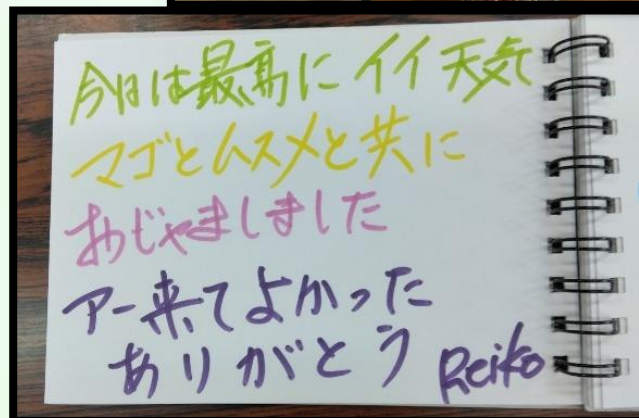
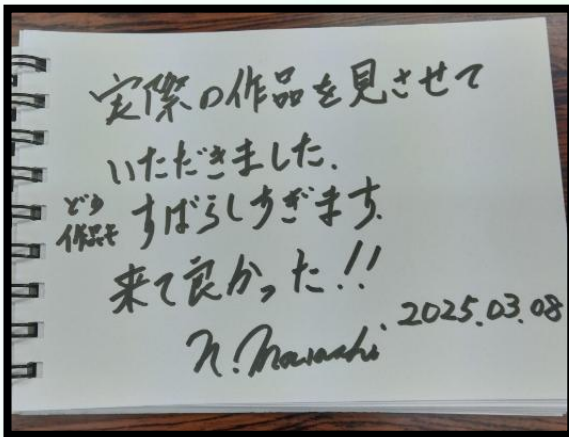
沢山の方に見ていただきました

ひとことどうぞでその時の様子が

分かっていたらとメッセージを記載

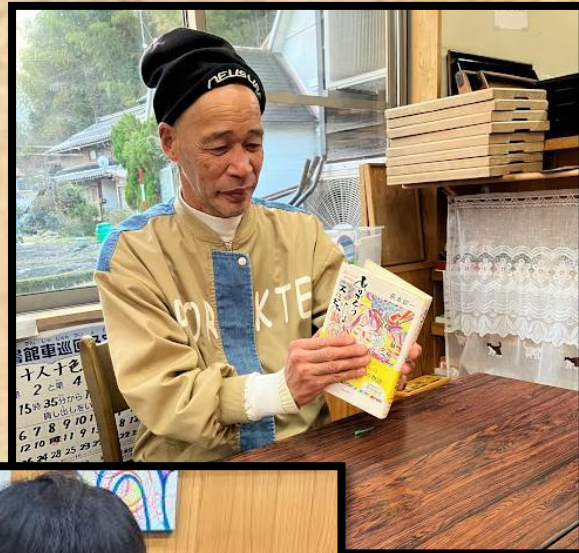
文/長友 久美子

花籠作成体験





本夜本昼は不定期に開催しています
 どなたでも参加出来ます。好きな本、
 お気に入りの本を一冊持ってきて下さい。
 夜に開催は本夜、昼に開催は本昼。読書会。



初めて本夜に参加したのですが、皆さんが紹介した本にそれぞれ個性が出ていてどの本もとても読んで見たくになりました。Yさんがお城の本を紹介したのが意外で驚きました。皆さんとても上手に本のあらすじを紹介していて、次回は私も見習いたいです。
 文/山本 卯多

2024年12月～2025年3月までの行事

12月

- 5日 ホームよっこらしょスタッフ会議
- 8日 用瀬人権文化祭参加
- 16日 虐待防止委員会会議
// 身体拘束適正化委員会会議
- 18日 防災会議
// 感染症対策会議
- 19日 789作業所スタッフ会議
- 20日 成年後見人さん来所・面談
- 26日 ちゃんちゃん運営推進会議



1月

- 7日 地元のとんど焼きに参加
- 9日 ホームよっこらしょスタッフ会議
- 16日 789作業所スタッフ会議

2月

- 6日 ホームよっこらしょスタッフ会議
- 17日 虐待防止委員会会議
// 身体拘束適正化委員会会議
// 感染症対策委員会会議
// 防災会議
- 20日 789作業所スタッフ会議
- 21日 成年後見人さん来所・面談
- 25日 BCP机上訓練
- 26日 ちゃんちゃん運営推進会議

3月

- 3日 ホームよっこらしょスタッフ会議
- 14日 伊藤美恵さんを招き虐待防止研修
- 18日 789作業所スタッフ会議
- 29日 地域の花籠巻きに参加

サポートまい進

飲食店に作品新たな試み



サポート活動に取り組む利用者たち

高齢者や障害者などいろいろな人を受け入れ、生活支援を行う。アート活動のきっかけは、前身の寄宿舎から知る1人の利用者。仏像のちぎり絵を見て「欲しい」という彼に対する「自分でやってみたら？」という提案から始まった。現在は5人の利用者を中心となり、思い思いの制作に取り組んでいる。

岸本美鈴理事長は、利用者が初めて作った作品を見た時に感動で涙を流したという。「障害者の世界はなんて面白いんだ!」。彼らと関わる日々は常に発見の連続で、とにかく面白いと笑う。アート部門担当の長友久美子さんは「集中力があり、同じことを繰り返すのが得意というの大きな才能。利用者が楽しんでくれたら」と思いを語る。

今月には鳥取市内の飲食店「BAR FEET」に作品を展示し、日中は仕事などで作品展を見る機

NPO法人 十人十色
鳥取市用瀬町安蔵



鳥取市川端2丁目の「BAR FEET」に展示されたアート作品

会がない人々を対象に披露するという新たな試みに挑戦。期間中は100人以上が足を運び、作品の魅力に触れてもらうことができた。

「アートは生きること」。利用者向き合い、自分たちができることは何かと試行錯誤しながら、日々のサポートにまい進する。

R7年3月30日日本海新聞に掲載されました

鳥取県主催のふるさと納税「ギフ鳥」から
寄付をお願いします！

目標
550万円

ご寄付の使い道

■「ちゃんちゃん」の屋根補修



小規模多機能居宅介護事業所「ちゃんちゃん」は、開設から12年が経過し、毎年の大
雨や大雪によりいたみが激しく老朽化が進ん
でいます。

■アート活動の費用



アート活動は利用者
にとって生きる活力に
もっており、継続的
に活動するためには材
料費や展示会の費用が
必要です。

●一口5000円からご寄付頂けます。●寄付額は所得税の控除対象になります。

屋根の補修	500万円
アート活動の費用	50万円

寄付はこちらから▶



ギフ鳥についての詳しい説明はこちらの QR コードからご覧ください。
(<https://www.pref.tottori.lg.jp/303522.htm>)

ご寄付ありがとうございました (令和6年11月28日～令和7年3月30日迄)

坂出節子様

【ギフ鳥より】

橋本泰治様、S様、A様、谷祐基様

<継続寄付ありがとうございます！>

青柳順子様、西尾千代美様、岸本美鈴様、森井麻貴様

継続寄付はホームページからしていただけます。
どうぞよろしくお願いいたします。

編集後記・・・例年より発行が遅く、今年初めてのという通信となり、本来は冬号となる予定で
したが春号となってしまいました。申し訳ありません。

岸本 一平